10月下旬発売 注文締切:9月30日

海の生物と環境をどう守るか

海の生物多様性をめぐる国連での攻防(仮題)

編著 坂元茂樹(鳳巻杜大学) 前川美湖

前川美湖(新門和財団海洋政策研究所)

- ◆予価2600円+税 ◆A5判並製288P
- **◆ISBN:978-4-908443-44-2**

海洋関連の既刊

編著:秋道智彌、角南篤/A5判/本体価格1600円



海とヒトの関係学①

日本人が魚を食べ続けるために

ISBN978-4-908443-37-4



海とヒトの関係学②

海の生物多様性を守るために

ISBN978-4-908443-38-1



海とヒトの関係学③

海はだれのものか

海はたれのものか。 ISBN978-4-908443-50-3





海とヒトの関係学④

疫病と海

ISBN978-4-908443-59-6



海とヒトの関係学⑤

コモンズとしての海

ISBN978-4-908443-69-5



海洋ガバナンス

海洋基本法制定 海のグローバルガバナンスへ -寺島 紘士/2600円+税/A5判280P

ISBN978-4-908443-51-0

FAX でのご注文 (受注センター)

FAX: 06-6310-7057

(TEL: 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 www.jimotonohon.com ●発行/西日本出版社

新

国家管轄権外区域とは、国際法上どこの国の権限も及ばない区域

を意味し、具体的には公海および深海底から構成される。この国家管轄権外

区域がなぜ重要であるのか。そこにはマグロやサケ等の水産有用種や、サメやウミガメ等の希少種が多数生息している他、経済的な利益をもたらし得る海洋 遺伝資源が多く存在することが知られており、海洋の生物多様性を考えるときに非 常に重要な海域であるからである。

このような背景の下、国家管轄権外区域の海洋生物多様性(BBNJ)の保全や海洋遺 伝資源の開発をめぐっては、1990年代より活発に国際的な議論が行われてきた。 本書では国家管轄権外区域の環境を守るためには不可避のBBNJの現況や問題を、海 洋法、科学、政府間交渉など多角的な観点から第一線の専門家が解説する。

* BBNJ = : 国家管轄権外区域における海洋生物多様性

目次

第一部 国連海洋法条約の流れとBBNJ

第二部 海洋生物多様性をめぐって

第三部 海洋生物多様性を守るために 国連におけるBBNJ交渉

_{みこ} 前川 美湖

海洋政策研究所主任研究員。2000年から国連開発計画で、北京、ニューヨーク、ルワンダ事務所で、環境・エネルギープロジェクトを中心に担当。2012年に東京大学総括プロジェクト機構「水の知」講座特任助教、2013年に大阪大学大学院特任講師、2015年より現職。

Z

■本体価格 2600 円+税

坂元 茂樹

同志社大学法学部教授。専門分野は国際法。琉球大学、関西大学、神戸大学を経て、2013 年より現職。 著書に『日本の海洋政策と海洋法』『防衛実務国際 法』『国際人権法』『国際人権法と憲法』『国家管轄 権外区域に関する海洋法の新展開』ほか、多数。

書店名(番線)

海の生物と環境をどう守るか

海の生物多様性をめぐる国連での攻防 (仮題)

■ISBN 978-4-908443-44-2

■著者:坂元 茂樹、前川 美湖 ■A5 判 288 p

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057

数 (新刊委託) 冊 **日付**

ご担当

日付

■発売/西日本出版社

冊

冊

₩

₩

₩

₩

文数

書店名(番線

海とヒトの関係学① 日本人が魚を食べ続けるために ■ISBN 978-4-908443-37-4 海とヒトの関係学② 海の生物多様性を守るために ■ISBN 978-4-908443-38-1 海とヒトの関係学③ 海はだれのものか ■ISBN 978-4-908443-50-3 海とヒトの関係学④ 疫病と海 ■ISBN 978-4-908443-59-6 東洋ガバナンス ■ISBN 978-4-908443-51-0

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057

搬入となります。、エックがない場合、

新刊と同時